

かじき

広報

No286 12月日
昭和53年

発行/加 治 木 町
編集/総 務 課
印刷/吉 屋 印 刷



読み終ったら故郷を離れている家族や知人にも送りましょう

(給食後の歯みがきをする生徒と竜門中学校)

学校紹介⑦＝竜門中学校 創立昭和22年5月 加治木中学校竜門分校として発足

西 良夫校長 教職員数13人(県費11町費2)生徒数87人(男49・女38)3学級

- 教育目標＝
- 積極的に勉学し、向上に努力する生徒の育成
 - 友愛互助の心にみちた明るく豊かな生徒の育成
 - 質実で、勤労に励む意志の強い生徒の育成
 - 健康な身体と粘り強い体力とをもった生徒の育成

◆人口/21,929(+12) 男10,443(+31) 女10,486(−19) 世帯 7,096(+15) 53.11.1 現在()前月比

昭和53年度

25億をこえた町の財政

上半期町の財政事情

町では、年二回の町の財政の状況について公表することになっていました。
これは、みなさんの納めた税金や、国、県からの収入がどのように使われているか、またどのように使われているか、このためどのぐらいの町債（借金）があるかなどについて、四月から九月までの中間報告をするものです。

一般会計財政

昭和五十三年度当初予算額は、歳入歳出それぞれ二十二億九千九百六十万円に五回の補正二億一千八百七十六万円を行ない、予算総額は二十五億三千四百七十六万円となっています。

上半期の歳入歳出の状況は、収入

町独自の自主財源は三七・九パーセント

入済額十二億五千九百五十一万四千円、収入率五〇・三、支出済額九億二千五百六十三万三千円、執行率三六・八となっています。

歳入予算のうち町独自でまかなえる自主財源は九億四千七百四十一万三千円、国や県などからもらう依存財源は十五億五千六百六十三万三千円、本町の財政は自主財源三七・九、依存財源六二・一で運用されていることとなります。

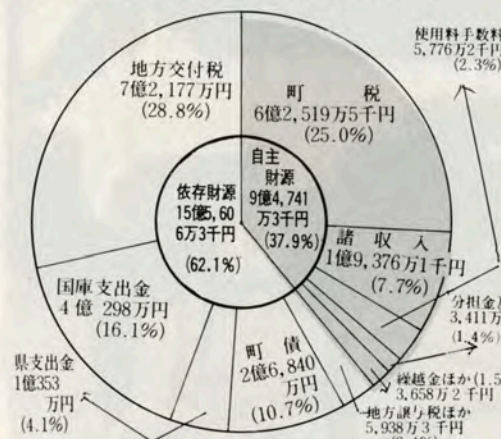
自主財源の主なものは、町税六億二千五百九十九万五千円（二五・一）で残りの三億二千二百一十一万八千円が諸収入や手数料などであり、

町民一人当りの税負担は二万九千四十一円

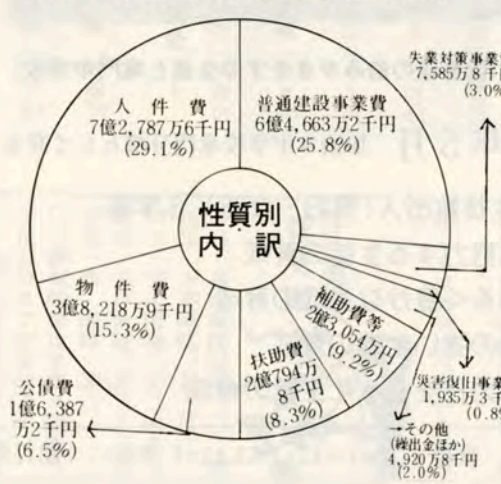
住民の税負担の状況は、町予算のうちの四分の一が町税によってまかなわれていることとなります。

整備が進む高岡公園

昭和53年度歳入予算内訳(上半期)



昭和53年度歳出予算内訳(上半期)



が、これを町民一世帯平均と一人当りに計算しますと、税負担は次のようになります。

- ▼一世帯当り 八万九千七百六十二円
- ▼一人当り 二万九千四十一円

また、上半期における町税の収入額は三億五千六百六十七万七千円、これを町民一世帯当り、一人当りに計算しますと次のとおりです。

- ▼一世帯当り 五万一千二百二十二円
- ▼一人当り 一万六千五百三十九円

歳出については、性質別に大別すると人件費、普通建設費、物件費、補助費等、扶助費、公債費、失業対策費、災害復旧費、その他などとなっています。

普通建設費の主な事業

公営住宅建設(十六戸分)一億八千八百八十八円、木田本通り線七千七百七十万円、義務教育施設整備(柵城小外)一億一千七百八十八万円、高岡公園整備二千五百万円、橋梁整備(鈴玉橋)三千三百万円、環原線整備五千三百二十万円、河川等整備(垂ノ口水路)一千万円、道路舗装整備二千五百六十万円、道路改良整備(西別府線外)一千九百四十万円、林構基幹作業道(井手向線外)一千九百三十七万円、福祉センター冷房施設九百九十九万円、団体営農道整備二千三百五十一万円などが主な事業です。

町の借入金、十二億二千六百四十七万二千円

公営住宅建設四千三百万円、臨時地方道整備五千三百二十万円、学校施設七千九百七十万円、街路二千七十七万円、臨時河川等整備一千九百二十万円、公園整備一千九百二十万円、道路舗装一千九百二十万円、老人居室整備六百四十万円、橋梁整備八百二十万円、林構基幹作業道四百一十万円などです。

町がいろいろな事業(仕事)をするために、国や県などから借りている町債(借金)は、五十二年度末現在で十億四千八百八十一万二千円ですが、五十三年度中借入れる予定額が二億六千八百四十万円、返す額九千七百七十四万円であり、これを差引くと今年度末現在の借金額は十二億二千六百四十七万三千円となる見込みです。なお、本年度借入れ予定の町債は次のとおりです。

昭和五十二年 一般会計 決算状況

決算額24億1,145万2千円

一般会計の繰越

三千八百四十三千円

昭和五十二年の決算額は、歳入二十四億八千七百四十九万五千円、歳出二十四億一千四百四十五万二千円となり、この差引額が七千六百四十三千円であり、そのうち三千八百四十三千円を決算積立金として財政調整基金に繰り入れたため、その繰越三千八百四十三千円が五十二年度へ繰越されます。

歳入

収入額の内訳は、自主財源（独自の財源）八億八千二百二十八万五千円（三五・二％）、残りの十六億五億二千二百一十五万五千円（六四・八％）が依存財源（国や県から入る財源）で自主財源を大きく上回っています。

自主財源の主なものは町税五億八千四百四十五万四千円、諸収入一億七千五百四十三万三千円、使用料及び手数料五千八百八十五万五千円、分担金及び負担金四千七百七十一万七千円などです。

依存財源の主なものは、地方交付税七億八千七百四十八万九千円、国庫支出金三億八千三百六十七千円、県支出金一億三千五百八十

歳出

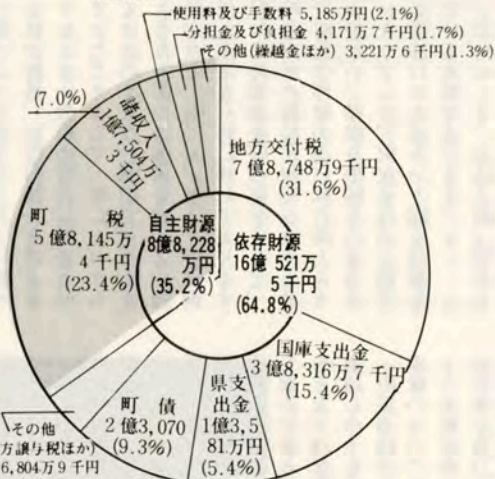
そのうち決算の二三・四％が町税で町民一世帯、一人当りに計算しますと次のとおりです。

▼一世帯当り
八万六千二百四十三円

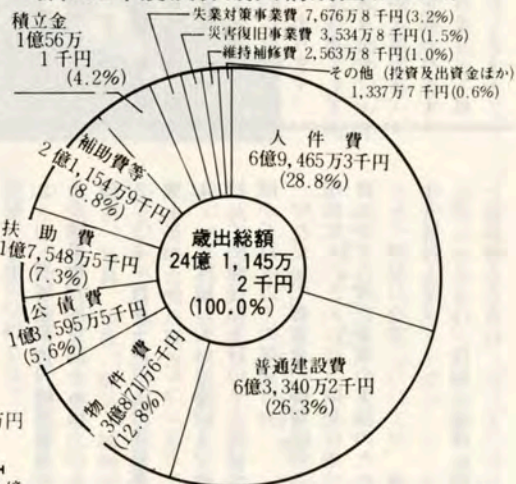
▼一人当り
二万七千九百二十二円

歳出においては、性質別にみると、人件費六億九千四百六十五万三千円（二八・八％）、物件費三億八千七百七十一万六千円（二・八％）、補助費等二億一千五百四十四万九千円（八・八％）、普通建設事業費六億三千三百四十万二千円（二六・三％）、失業対策事業費七千六百七

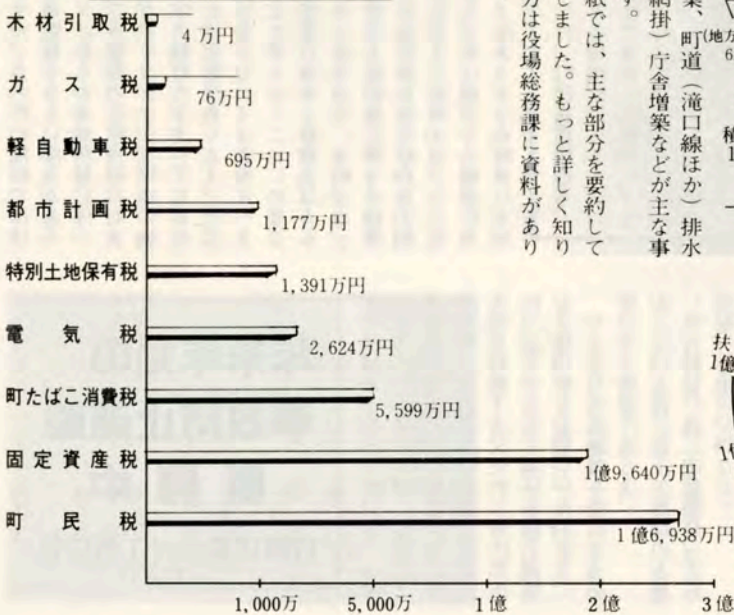
昭和52年度歳入構成図



昭和52年度決算歳出構成図(性質別)



町税の割合



昭和五十一年度の決算に比較して人件費、物件費、扶助費、公債費等義務的経費の伸率、構成比は低下の傾向にありますが、引続き健全財政確立のための努力が必要と思われます。

なお、この数年財政調整基金を積み立ててきていますが、五十二年年度積立金まで含めて二億九百五十五万七千円となっています。

建設事業の主なものは次のとおりです。

公営住宅建設(十六戸)、木田本通り線、高岡公園整備、柅城小屋体、林道高井田線、西別府線改



町長就任のごあいさつ

東 國 雄 氏

題として残した重要問題もいくつありましたが、積極性にかける、或は創造性が不足しており、決断力がない、というご叱正も数多くいただきました。一年生町長として精いっぱい努力したつもりでしたが、そういわれることも当然でしょうからこれ等の点について

加治木町は県都鹿兒島市に近いことの立地条件に恵まれ、ここ数年米宅地開発などの開発行為が大小を問わず町内各所にみられることは町民の皆様も御存知のことと思います。このことは本町人口の増加が続き、本町発展のためにはまことに結構なことですが、反面無計画な乱開発がこのまま続きますと、環境衛生の悪化、自然環境破壊のおそれがでてきます。即生活環境悪化をまねく結果になります。町当局といたしましては、これらの開発行為と本町都市計画及び総合振興計画の諸施策との調和がはかれるように努力いたして

おりますが、今の町の権限では法的に指導監督できない部分があります。又これらの宅地開発に伴って複雑で多岐にわたる行政当局に対する要求がでてきますが、現在の地方自治体の財政力ですべてに対応することは至難であります。そこで開発行為については実現すべき町の一定水準を示しこれに必要な公共施設等の確保・整備をはかる必要がありますので、本町では、宅地造成等土地開発に関する指導要綱・実施要領を定め昭和五十四年四月一日より実施することになりました。次に該当する開発行為についてはあらかじめ町長に土地

利用協議書を提出し承認をえる事になっていきます。「輝く太陽の下、風光明媚な海と山、緑豊かな格調ある町並みと田園のなかで、市民生活が躍動する文化的な居住都市」づくりのために関係各位の御協力と御理解をお願いいたします。

△土地利用協議書を提出する必要がある開発行為とは、

- (1) 一団五百㎡以上の面積の土地に係る開発行為（宅地開発、土石採取、林地の分譲など）
- (2) 中・高層建築物の建設事業でその建築物が地上高10m以上のもの
- (3) 住宅戸数が十戸以上の建築事業（アパート・マンションなど）
- (4) 一定区域において連続及び継続して開発行為を行いその累積面積が五百㎡以上の開発行為

▽ただし、農業者が農業経営の規模拡大のために行う開発行為や農地保有合理化事業の実施のために行う開発行為等については、適用を除外します。

詳しいことは、役場企画課に問い合わせください。

町長選挙 無投票再選

東 國 雄 氏

任期満了に伴う町長選挙は、十一月二十七日、立候補届けが締め切られた。その結果、立候補は東國雄氏（云々）だけとなり、昭和二十五公職選挙法施行以来初の無投票選挙となった。これに伴い町選

挙会が十二月四日開かれ、正式に当選が決定。六日町選挙管理委員会委員長から当選証書が、東國雄氏に授与された。これから四年間、町政発展のため活躍が期待されます。

土地開発は 町と協議のうえで

来月四月一日から土地開発については町との協議が必要になります。

加治木町は県都鹿兒島市に近いことの立地条件に恵まれ、ここ数年米宅地開発などの開発行為が大小を問わず町内各所にみられることは町民の皆様も御存知のことと思います。このことは本町人口の増加が続き、本町発展のためにはまことに結構なことですが、反面無計画な乱開発がこのまま続きますと、環境衛生の悪化、自然環境破壊のおそれがでてきます。即生活環境悪化をまねく結果になります。町当局といたしましては、これらの開発行為と本町都市計画及び総合振興計画の諸施策との調和がはかれるように努力いたして

年末年始の 事故防止運動 展開中

12月15日 ⇄ 1月10日

670点を展示

第20回町美術展



中学生とは思えない力作「うまいナ」

第二十回町美術展は、十一月十日から十二日までの三日間にわたり町福祉センターで開かれました。作品は、小、中学生の図画、習字、工作六〇九点をはじめ、一般の絵画、写真、工作六一点などで「美術の秋」にふさわしい力作が会場いっぱい展示されました。

初日の十日は、入賞者の表彰式が行われ、能瀬教育長は「今年もたくさん作品を出品していただきありがとうございます。本日入賞された方々は、かねての努力が実った結果です。特に指宿養護学校加治木分校のみさんがよくがんばって、特別賞の立派な成績

生ゴミは水切りを良くして焼えやすいようにしましょう。

目についた。

図工：色彩は混色がよくなされ個性的で美しいものが多かったがかきたいもの（中心）を大きく表現させるくふうがほしい。

特別賞、奨励賞の入賞者は次のとおりです。

▽町長賞

描画 北原隆（錦小四）

毛筆 原田智子（柁小五）

▽教育委員会賞

彫塑 福本武信（竜小五）

毛筆 森一幸（加中三）

▽議長賞

絵画 山田凡雄（指養中三）

毛筆 田代洋二（柁小三）

▽商工会長賞

デザイン 石原哲郎（加中二）

毛筆 田中由美子（加中二）

▽農協長賞

デザイン 松崎かぐみ（柁小六）

硬筆 塩屋伯美（柁小二）

▽南日本新聞社賞

絵画 上木から（指養小二）

毛筆 渋谷友美（柁小四）

▽南日本書道会賞

毛筆 新須明弘（柁小六）

▽奨励賞

描画 郡山省治（永小一）浜田

まき（錦小二）米丸あつ子（同三）

大塚久美子（同五）くまはらみどり（柁小二）三嶋謙二（同五）磯

島太（同六）

デザイン 山口かおり（永小二）

伊達ゆかり（錦小二）徳永真理子（同二）岩沢千恵（柁小五）畠中

賢一（竜小四）曲田明美（永中二）

苗代迫るみ子（加中三）

工作 とおやいくこ（柁小二）

榎並準一（同三）

彫塑 いのうえかずき（竜小二）

山口しょう一（同二）東川内知美（同四）

工芸 東伸治（永中二）内村恭司（竜中三）

絵画 吉田敏昭（竜中三）猪目

英男（同二）茶円明子（加中二）

大塚知彦（同三）向井田ゆか（指

養小三）石橋悦子（同四）川田久

（同六）福永香（同六）田中幸蔵

（指養中一）長位謙二郎（同二）

硬筆 かみむらなおき（柁小一）

もりしたちかこ（同二）ながとも

みわ（同二）かさいありさ（同二）

ときわようこ（同二）みなみとも

こ（同二）しんすなおき（同二）

毛筆 重留祥一（柁小六）田代

憲一（同六）田中ルミ（同三）前

田真一（同四）前田真理子（同五）

金納史彦（同三）藤崎香（同三）

重留昌実（同三）原田祥子（同四）

塩屋千品（同五）立元和枝（同五）

宝蔵真由美（同六）日高由美（竜

小三）畠中淳一郎（永小四）宮内

正剛（加中一）湯田マミ子（同二）

右田敦子（同二）中森加代子（同

三）畠中淳一郎（永小四）坂元江

利子（竜中三）鶴留幸雄（永中二）

大宮路小百合（同三）大原和行（

指養中一）瀧脇浩（加中一）宮内

正剛（同二）湯田マミ子（同二）

右田敦子（同二）中森加代子（同

三）立元ヨシコ（同二）梅木洋子（同二）



青桐の葉の音しきり秋時雨

火逝けりゆく秋を詠むこともなく

山の湖冬霧こめて硫黄の香

萩を干す庭を縫い来る郵便夫

頭のみ見えて花野のわらべ歌

紅ほのか朝市に買ふ新生姜

草かれし城趾くまなる散る銀杏

始業ベル冬立つ樹々にひびきけり

溪谷に見下す岩の葛紅葉

菊飾る階段靴み序舎老ゆ

南天の実が目立ち来て句友の死

山峡の焰と燃えむ夕紅葉

恒吉 斗南

横山 江南

鶴田 耕

徳留 末雄

曾木 柳田

中馬 静子

三浦 ゆう

白柳

紅葉

たばこ

たばこ

たばこ

たばこ

たばこ

たばこ

たばこ

たばこ

たばこ

たばこ

スポーツ

第11回 義弘公奉賛武道大会 剣道・弓道に 140チーム出場

第十一回義弘公奉賛武道大会は十一月二十三日、精矛神社境内と加治木高等学校体育館で行われたこの日は加高体育館で剣道一〇〇チームが、弓道は精矛神社で四十チーム総勢八〇〇人が出場し、日頃練習で鍛えた技を競い合いました。

成績は次のとおりです。

剣道 小学生の部：①富隈剣道スポーツ少年団 ②正剣館 ③土橋剣道スポーツ少年団
中学生の部：①単人中 ②伊集院中 ③国分南中
高校生の部：①鹿児島実 ②鹿児島



百チームが集った開会式

背筋をピンと伸ばしての、競射



島商 ③国分高A

▽一般の部：①真道館 ②国分中央同好会 ③国分剣親会

弓道 中学生男子の部：①蒲生中 ②竜門中 ③加治木中、女子の部：①蒲生中

▽高校生男子の部：①鹿児島商A ②加治木工A ③鹿児島商B 女子の部：①鹿児島女子高A ②蒲生高

▽一般の部：①加治木求道館B ②郡山町 ③日吉町

悪天の中力走

第十回ロードレース

第十回町ロードレース大会は十一月十二日、町営運動場から新田堤防折返し区間で行われました。当日は、小・中学校生から高校一般まで三四〇人が参加、全員が力走しました。

成績は次のとおりです。

▽小学校低学年一、〇〇〇米

男 ①市来貴(柅小) ②鰹島こうじ(柅小) ③小出水幸一(錦小)

女 ①八塩ひろ子(柅小) ②内野美奈子(錦小) ③林典子(錦小)

▽小学校中学年一、五〇〇米

男 ①常盤政明(柅小) ②竹下太(錦小) ③押川睦(永小)

女 ①石野加代子(竜小) ②田上美智子(錦小) ③山口かおり(永小)

▽小学校高学年二、〇〇〇米

男 ①城照行(永小) ②上村秋光(永小) ③垣内英人(柅小)

女 ①新富士美(永小) ②新聴

子(錦小) ③本吉原恵子(柅小)

▽中学校男子四、〇〇〇米

①桑迫千尋(永中) ②西森正一(永中) ③高田剛(加中)

▽中学校女子二、〇〇〇米

①向江小百美(永中) ②隈原秀代(永中) ③小宮路米美(永中)

▽高校女子二、〇〇〇米

①小山陽子

▽一般男子四、〇〇〇米

①中川正孝 ②坂元修二

▽一般女子一、〇〇〇米

①犬童沙代子 ②有馬とみ子 ③池畑

洋子

ハズンダ部落・地区運動会

西元親子で作った大綱引き
地区



カスラとワラで作った綱引き

秋のとり入れもすんだ十一月五日の日曜日は晴天にめぐまれ、町内各部落・地区七ヶ所で運動会が行われ、どの会場も家族ぐるみでにぎわいました。

なかでも竜門西元地区(大童猪之公民館長)では、綱引きは自分たちで作ったもので、子供たちががずらとワラを集め、夜に昔作ったことのあるおとなの方と一緒に十五夜の綱を三日間で「カキ」あげ、当日はヒゲのついた綱引きで運動会がハズミました。

これは、昔ながらのワラで作る十五夜の綱づくりを今の子どもたちにも知ってもらおうと計画されたものです。

四月以降運動会が行われた部落地区は次のとおりです。

▽部落：迫、田中、里、高井田、西諏訪、於里、吉原、須崎、弥勒

岩原、塩入、東吉原団地、隈原、向江町

▽地区：錦江Ⅲ、中野、竜門西元

竜門東元、竜門東浦

町陸上記録会

七個の新記録

昭和五十三年度町陸上記録会は十一月七日、町営運動場で開かれ子ども達は元気よく記録に挑戦。六種目に七個の大会新記録とタイ記録の一個が生まれました。

町内四小学校五、六年生から六一八人が参加して一〇〇米等七種目が行われた。

大会新記録は次のとおりです。

▽五年女子四〇〇米 山神由美子(柅城) 一分十四秒八 杵崎香織(柅城) 一分十四秒九

▽五年男子一〇〇米 垣内英人(柅城) 三分二七秒六

▽五年男子走り幅飛 山中敏公(柅城) 四二・二

▽五年男子走り高飛 吉田博記(柅城) 一・三〇

▽六年男子走り高飛 齊藤洋一(柅城) 一・四一

▽五年男子四〇〇米リレー 柅城A(山中敏公、竹下司、松田洋人、岡本雅司)

タイ記録

▽五年男子一〇〇米 山中敏公(柅城) 十四秒五

話題

朝食ぬきでまっていた

スシのプレゼント

町内二軒のすし屋（吉本広樹・郡山薫）さんは、南九州病院で入院生活をしながら勉強をしている指宿養護学校加治木分校（筋ジス）の子供ら八十五人に、今年も十一月十四日、おいしいおすしのプレゼントをしました。

このプレゼントは五年前から続けられているもので、今年も養護学校の子供四十五人と難病と闘いながら入院生活をおくっている成人の方々四十人に、魚屋さんや米屋さんらの協力で腹いっぱいごちそうしました。

腹いっぱい食べる子供ら



さんのすしをプレゼントしてくださってありがとうございます。病気に負けず訓練をし、勉強に頑張ります。いただきます。と元氣よく車椅子から立ち上がり、お礼のことばをしました。

一年ぶりのごちそうに、ある子どもは朝から食事ぬきで夕食のこの食会をまっていた子どももいて最高四十五個（四人半前）を食べた子どももいました。こうして皆んな腹いっぱいごちそうになりました。

協力者 松本栄吉、田中慶二、伊地知藤助、丸正海苔、ヨシキ

狢友会獲物を

老人にプレゼント

加治木町狢友会（溝口久男会長一四五人）では、ことしも共狢会を開き、とれた獲物三十羽をお年

勲五等瑞宝章の二人が晴れの叙勲をうけられました。

寺崎豊志さんは昭和二年市来尋常小学校をふり出しに、加治木高等小学校長や加治木町教育町（五十二年十二月退任）まで、五十年間学校経営から県社会教育の振興ならびに教育行政の充実に多大の成果をあげられた。

寺崎さんは、りっぱなごほうびがいたただけで感無量です。すべて自分一人の力でやってきたのではなく、みんなの力でやってきたわけ、いい仕事をさせてもらったと感謝の気持ちでいっぱいです。

寄りの家庭にプレゼントしました。この日参加したのは約五十人でキジ、シギ、ハト、ウスラなど三十羽をとった山の幸を「自分たちはいつでも食べられるので、お年寄りたちに食べてもらおう」と贈ったものです。



お年寄りにキジを贈る溝口会長

と叙勲の喜びを話していました。

大迫豊蔵さんは、昭和八年消防手拝命以来、分団長から町消防団長（五十一年七月退任）まで実に四十三年間消防業務、その使命達成に貢献され、大きな功績をあげられた。

「私は十九歳のとき消防団に入り、以来四十三年間。思えば以前はすべて手動で、車を引っぱって走ったものです。冬の寒い夜、霜柱を踏んで走ったことが忘れられません。今度の受章は、私にとって最高の栄誉です。」と受章の喜びを話していました。

お年寄りたちは「思いもしない珍しいものをいただき、ありがとうございます。」と大喜びしていました。

にぎわった

第十二回文化祭

第十二回町文化祭が、十一月二日・三日の両日、町福祉センターを主会場に開かれた。

センター会場には、書芸、盆栽、銘石、写真、短歌、俳句、編物が展示、生花はエビスや会場にたくさんさんの力作が展示され観覧者の目を楽しました。

二日目は、第三会議室で茶会が開かれ、会場に集った方々にお茶のサービスをしました。

一方ホールの舞台では、芸能発表会が、日本舞踊はじめ吟道など四十種目が発表され、会場は終日にぎわいました。



おめでとう秋の「叙勲」

寺崎豊志（於里）さん
大迫豊蔵（江湖）さん

「文化の日」の十一月三日、各界で永年活躍し功労のあった五十二年秋の叙勲が発表された。受章者は、鹿児島県関係七十三人のうち当町からは、教育振興に貢献された於里の寺崎豊志さん（モミ「勲四等旭日小授章」と、消防業務に貢献された江湖の大迫豊蔵さん（雲）「



喜びの寺崎さん右と大迫さん

町婦人会だより

師走。聞いただけで何だか走り出しそうな気がします。一年中でいちばん、あわただしく、忙しい月である事は事実です。特に私たち主婦にとつては。でもこの忙しいなかで、時には仕事の手を休めて、過ごして来た五十三年を振り返り自分の生き方を反省してみるのも大切な事だと思ひます。どうですか？ 自己評価の結果は？

姉妹町の伊集院町へ

婦人会と交流会

去る十一月二十日、私たち町婦連の役員十一名は社会教育課の新地先生と共に姉妹町である伊集院町へ出かけました。今年は姉妹の契りを結んで十年目とか、加治木まんじゅうをおみやげに持っていました。

教育長先生はじめ婦人会の役員の方々がこられた伊集院まんじゅうで迎えてくださいました。

初対面の人ばかりですのに、最初からすつかりとけこみ、和気あいあいのうちに、お互いの活動状況、問題点など出しあい、楽しいしかも意義ある交流ができました。教えられたり、教えたり、姉妹とは、何といいもんだと思ひました。徳重神社参拝のあと、約十億ぐらいで出来たすばらしい町の文化会館と、ゆすの里を見学して帰途につきました。これからの交流をもっと深め、お互いに助け合つてのびていこうと思ふことです。

あいさつ・こだま運動を推進しよう

青少年育成県民会議が提唱して

文化財めぐり

千鳥庵水巴墓

反土・黒川



水巴は、向江町（錦江町）に住んでいた。立山長兵衛の娘でミエといった。俳諧で有名な伊勢春海を師として修業しはじめ、洋々園水巴と号したが、のち武蔵の俳人蕉下庵玉簡が来て、水巴の千鳥の句をきき（千鳥にも白波たつる千鳥かな）千鳥庵の号を与えた。文化二年（一八〇五）正月六十四歳で死去。墓側に石灯籠を建て、門人二十三人の追善供養の句が刻んである。その句の前に「水巴夫婦は花吹風に乘り去て、宛も早七々の日数にあえり、兼而交りの連中、石燈籠を築き句々を書きしるし、風雅平等法界の追善供養をなせり云々」

いる「あいさつ・こだま運動」を家庭から隣近所、学校、職場とひろげていきたいものです。
▽日常のあいさつ
○おはようございます
○こんにちは
○こんばんわ

いから何かしてもらった時、めいわくをかけた時、自分の心を素直にあらわすようにしましょう。
○ありがたうございます
○すみません
あいさつから人の心と心などのふれあいが生れるものです。特に

○さようなら
○おつかれさま
○ごろうさまなど、日ごろかわり合いのある人にすすんであいさつをしましょう。
▽よい返事
○はい
○いいえ。人から呼ばれた時、何かたずねられた時など、はっきりとした返事をしましょう

感謝

年末年始、人との出会いが多い時です。心がけてみませんか。年の瀬を控え、いちばん忙しい時、手順よく仕事を片づけていきたいものです。

○計画をたてて買物を
○手づくり料理で新年を
○七草祝、成人祝等の簡素化を
○家族で祝う新年を
どうぞよいお年を！！

鼻やノドの粘膜乾燥

暖房時は加湿を忘れず

家庭の医療



しかし、一般的にいえば気温が摂氏十三度以下になると、われわれのからだは、じつとしていて手足などを動かさなければ、しだいに冷えてきます。

皮膚血流量の研究の結果からいえば、摂氏十

度以下になると、暖房が必要というようになります。また、暖房すると湿度は低くなり、空気が乾燥し、鼻やノドの粘膜も乾き細菌感染が起りやすくなります。このために湯気を立てるなど加湿が必要です。

こういった条件などからみると、普通に生活している状態の場合、シーズンに合った衣服を着て、気温が摂氏十七・二十五度、湿度四〇～七〇％、風速が秒速五十センチ以下というときには、「快適」と感ずる人の割合がいちばん多いようです。

このほか、暖房すると暖かい空気は上に、冷たい空気は下になりますので、上下の空気の対流をよくして室内を平均した温度にすることが大切です。

10周年を記念して 桜を植樹

竜門青年団

小山田の竜門青年団（内村孝志 団長、三十人）は、団結十周年を記念して十一月十九日、桜十本を小山田の大井上神社境内に植えました。

今年は、竜門青年団が四十三年五月に結成されて以来十年目にあたり、これを記念して昼すぎから青年団OB会（山元司会長、十五人）と、竜門中学校グラウンドで親睦のソフトボールを楽しんだあと、全員で大井上神社に、夏まつりの盆金の一部とみんなで出し合って購入した桜十本を植え込みました。

同神社は「竜門の森」があり、

歳末大売出し抽選

特等は10万円

ことしも十二月一日から三十日まで町内商店街の「歳末大売出し」が始まりました。

ことしは、一千元お買上げの方に一枚の抽せん券がわたされますが、この当りくじの混ぜ合わせが一日、町商工会で、婦人会長などの手で行われました。

景品は次のとおりです。

特等Ⅱ一枚十万円、一等Ⅱ一枚五万円、二等Ⅱ一枚一万円、三等Ⅱ三枚五千円、四等Ⅱ六枚三千円、五等Ⅱ一六枚一千円、六等Ⅱ五〇枚五百円、以下七等から九等まで九、五〇〇枚に、三百円から十円が当ります。

買物は町内のお店で買いましよう。



当りくじとカラくじの混ぜ合わせ

中小企業に働く皆さんに融資

ろうきんと取引できる労働組合がない事業所などで働く労働者に労働金庫から融資が受けられるようになります。

これは町民の生活向上に寄与する目的で、町が県労働者信用基金協会に出捐したことによって借り入れができるようになったものです。

条件は、町内に居住し、同町に勤務先がある者で現在の職場に一年（住宅ローン・スクラムローンは三年）以上勤務し、継続して収入のある者。

貸付種類は、生活ローン、スクラムローン、住宅ローンです。詳しくは、鹿児島県労働金庫加治木支店に問い合わせください。

表彰個人岡山秀樹さん 県体協表彰団体あすなろ会

本町塩入の岡山秀樹さん（六〇）と岩原のあすなろ会（田上宣昭会長、二十三人）は、十一月三日から奄美群島復帰二十五周年を記念して行われた第三十二回県民体育大会の開会式において、県体育協会から表彰されました。

岡山さんは、永年にわたりスポーツ振興ならびに地域社会体育の普及に、多大の成果をあげられたとして表彰。現在町体育協会会長、スポーツ振興審議会議長

あすなろ会は、社会体育の実践活動を進め、スポーツの普及と明るい町づくりにより多大の成果をあげられたとして表彰されました。



岡山さん左と田上あすなろ会長

町民みんなで時間を
励行しましょう!!

時間は大切にし会合などの
時間を守りましよう。

みんなそろって

明るい正月を

歳末たすけあい運動

十二月は、一年の締めくくりの月であり、ふだん落ち着いている先生も走り出す（師走）というほど忙しく、あわただしい月でもあります。その上、毎年十二月は、犯罪や交通事故、火災などが、ふだんの月より増える傾向にあります。私たちの周囲から犯罪や事故を無くし、恵まれない人には「愛の手」を（みんながそろって明るいお正月を）をスローガンに、今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が、十二月いっぱい繰り広げられます。

この運動は、赤い羽根でおなじみの共同募金運動（十月・十一月）の一環として、十二月に限って行われるものです。

恵まれない方に善意の募金を——みんなそろって明るいお正月を迎えられるよう、みなさんのご協力をお願いします。





おしらせ

町成人式

1月15日

本町の成人式は、来年一月十五日、町福祉センターホールで行われます。

成人式の該当者は、昭和三十三年四月二日から昭和三十四年四月一日までの出生者です。式では、新成人者による体験や抱負発表も行われます。新成人者全員の出席をお待ちしています。

うぶ声

十月二十一日から
十一月二十日受付分

出生者	肥後智子	正徳
福森友博	井手博文	岩原西
遠矢まゆみ	瀬戸口友和	今町
濱田洋介	今蘭友一	修
川野真一	有村卓朗	政治
阿部吉隆	門田ゆかり	一郎
伊福智美	倉又美乃里	和男
原口菊美	町田理奈	喜久男
幸二	地福まどか	政治
幸二	松尾友	敬二
幸二	野上智加	義和
幸二	市来夕佳	義和
幸二	三浦祥子	秀次
幸二	松葉瀬健二	悠兒
幸二	湯川省吾	隆司
幸二	重信真理	健
幸二	瀬尾賢一郎	龍三
幸二	木佐貫淳一	順一
幸二	岩切育代	文男
幸二	憲一	邦博
幸二	田中	弥勒
幸二	田中	吉原

史話

11

島津日新公

いろは歌

宮内虎雄

の：道（のが）るまじ所をかねて思ひき
時に到りて涼しかるべし
どうしてものがあることのできない場合には、いさぎよく命を捨てておれば、かねてから覚悟しておれば、その場にのぞんであわてることもなく、心もすがすがしく気持ちのよいことであろうとの歌である。人の一生の門には、いつどんなことが起きないとも限らないものでかたねてからあらかじめ覚悟

お：思はえず違ふものなり身の上の
欲をはなれて義を守れひと
私利私欲があると、思わず知らずの間に正しい人の道をつみはずすものである。それで人は、常に一身の欲をはなれて道義を守り、

正しい道を行くべきであるとの歌である。
く：苦しくとすぐ道を行けつづら折りの
末はくらまのさかさまの世ぞ
どんなに苦しくとも、まっすぐな道を行くようにせねばならぬ。苦しまぎれに、つづら折りのようなまがりがりくねった道を行き、悪事をすれば、ついに鞍馬山の坂からまっさかさまに落ちるようなひどい目にあうものであるから、どんな苦しいことがあっても、決して悪いことをするようになく常に正しい道を行くべきであるとの歌である。

香典返しを 寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（内は故人

町社会福祉協議会へ

- 二万円 葛蒲谷下福ヶ迫一美（セキ74）
- 五千元 鶴原 宮内 洋一（良夫39）
- 三万円 岩原西 蓬原 敏（政雄78）
- 一万五千元 桑迫 木下 清治（スミ子58）
- 二万円 布越 三村 文昭（権藤進71）
- 五万円 萩原 西 シナ子（政則42）
- 二万円 茶碗屋 福元 武行（ムラ74）
- 一万円 上葛蒲谷谷口 豊蔵（ワカ83）
- 十万円 下新道 林 敏克（笑蔵86）
- 一万円 岩原西 蓬原 敏（政雄78）
- 一万円 上葛蒲谷谷口 豊蔵（ワカ83）
- 五万円 下新道 林 敏克（笑蔵86）

町国民年金協議会へ

- 一万円 御狩山 田ノ上 勲（ミ子82）
- ▽：十一月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

県立保健婦学校

学生募集

県立保健婦学校では、昭和五十四年度学生を募集します。

▽修業年限 一年
▽受験資格 高等学校を卒業した者、またはこれと同等以上の資格のある者

▽願書受付 昭和五十四年一月五日から一月二十五日まで

▽願書提出 始良郡始良町平松六二二鹿児島県立保健婦学校

▽試験期日 昭和五十四年二月八日

詳しくは当学校へ問い合わせください。

十二月の 在宅医



- 3日 神田橋医院② 二〇二四
- 10日 上妻医院 ② 二四二一
- 17日 平山医院 ② 二四六八
- 24日 玉利病院 ② 二四二八
- 31日 牧 医院 ③ 二二二二
- ：診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。
- ：当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください